

株主・投資家とのコミュニケーション

1. 基本的な考え方

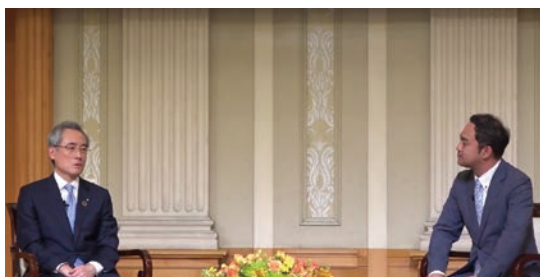
当社は、会社情報の適時適切な開示に努めるとともに、国内外の株主・投資家の皆さまに対する積極的なIR活動、建設的な対話を通じて、透明性の高い企業経営を目指しています。具体的には、会社情報を適時、公正かつ正確に開示

することに加えて、当社業績や業況、事業戦略などについて、トップ自らが積極的に説明会などを通じて、株主や投資家の皆さまにより深くご理解をいただけるよう努めています。

2. 活動実績

(1) 個人投資家向け活動

個人投資家の皆さまに、当グループについてご理解を深めていただけるよう、個人株主・投資家を対象とした説明会の開催や個人投資家専用のウェブサイトの開設、株主向け通信（とらすと通信～営業のご報告）の発信など、情報提供に努めています。2019年12月に開催した説明会では、株式会社CBCテレビ西村 俊仁アナウンサーとの対談を通じて、当グループの魅力を分かりやすく、投資家の皆さまにお伝えしました。



詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

https://www.smth.jp/investors/individual_meeting/index.html

(2) 機関投資家向け活動

アナリスト・機関投資家を主な対象として、本決算・中間決算に合わせて年2回、決算説明会を開催しています。加えて、

証券会社が主催するカンファレンスへの参加、国内・海外IRにて個別の面談を実施し、経営戦略や財務状況などについて説明を行っています。

2019年6月には、重要文化財である三井本館にある日本橋営業部の店舗見学会および事業説明会を実施しました。また、同9月に開催した三井住友トラストIR Dayでは、ESGをテーマとして取り上げ、専門信託銀行グループのビジネスとサステナビリティの親和性、ビジネスを通じた持続可能な社会実現への貢献に関して説明しました。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、国内外への出張が困難な状況下においても電話会議、ビデオ会議などを積極的に活用し、投資家との対話を継続しています。



IR Dayの様子

■ IR活動(2019年度実績)

アナリスト・機関投資家向け決算説明会	2回
海外IR	8回
国内外機関投資家との個別面談	個別面談社数:267社 (うち海外投資家134社)
個人投資家向け説明会	10回(参加者数:1,119名)

3. 株主総会

毎年6月に開催する定時株主総会については、招集通知を早期に発送するとともに、さらに発送の1週間前に、証券取引所や当社のウェブサイトへの掲載を行っています。また、インターネットや携帯電話（スマートフォンを含む）による議決権行使を可能としているほか、議決権行使プラットフォームに参加することにより、議決権行使環境の向上に努めています。また、招集通知の英訳版を、和文と同じタイミン

グで、招集通知発送に先駆けて当社のウェブサイトに掲載し、海外の株主の利便性向上にも努めています。なお、株主総会終了後には、当社のウェブサイトに、当日ご来場いただけなかった株主の皆さまに総会当日の模様をお伝えすべく映像を掲載するとともに、決議通知および議決権行使結果を速やかに掲載しています。